

韓国の小学校英語教育の現状

教材を中心に（新課程への移行期間に見る）

高橋 美由紀

（愛知教育大学）

柳 善和

（名古屋学院大学）

1. 本論文のねらい

2011年度からの学習指導要領の改訂に伴い、日本の小学校では高学年を対象に「外国語活動」が必修として導入され、年間35時間実施されることになった。一方、諸外国では、既に小学校で英語は「科目」として導入されており、開始学年についても、高学年からではなく低・中学年から始められている国も多い（高橋 1998 : 55, McKay 2002, 大谷他 2004, 河原編 2008）。

韓国の小学校英語教育は、第7次教育課程による1997年度から導入された。当初は小学校3年から週2時間必修教科としての英語教育が実施された。これまで韓国では、小学校英語教育は1981年からの特別活動の中で行われていたが、実際の実施に当たっては各学校の裁量も考慮されており、全ての学校で実施されていたわけではない（河合 2004）。

その後、授業時間数については実態に合わせた増減があったが、2010年度までは3年生から6年生まで基本的に週2時間で実施されていた。

2012年度（2012年3月）からは改定された教育課程が実施され、小学校の英語は小学校3年生と4年生で週2時間、5年生と6年生では週3時

間となる。また教科書はこの年度から、それまでの国定教科書に代わって、検定教科書が使用されることになっている。

2011 年度にはこの新課程への移行措置として、英語が 5 年生と 6 年生で週 3 時間教えられることになり、この年度だけのために国定教科書が改訂されて使用された。本論文では、この移行措置期間である 2011 年度の小学校英語教育の実態について、使用されている教材やそれを取り巻く取り組みを紹介する。

2. 韓国の小学校英語教育の取り組みの諸側面

2.1. 英語特別教室の設置

韓国では前述のように 1997 年度から小学校に教科として英語が導入されたが、李明博政権下ではさらに学校での教育環境の整備が進められた。そのひとつに英語特別教室の設置がある。1 つの小学校に日本円で 400 万円相当の予算が配布され、それぞれの小学校で英語の授業のための特別教室が設置されている。学校の児童数によって設置される教室の数は増減するが、担当の教員が工夫して教室のレイアウトなどを考える。

次の写真は大邱（テグ）市立 Cheongrim 小学校の英語特別教室である（写真 1）。



写真 1：英語教室全体を右後方から撮影したもの

教室全体の色使いやレイアウトに工夫が凝らされ、児童は教科書やノート、筆記用具などを持ってこの教室にやってくる。この教室には英語の授業で使用する教材や機材が置かれており、教員にとってはいちいち教室までそれらの教材や機材を持って行く必要が無い。

また、写真 2 はこの教室の前面の機材を撮影したものである。ホワイトボードが 3 面に分割され、中央のボードはプロジェクターのスクリーンとして使用されている。プロジェクターは写真から分かるように、教室の天井に設置されている。この写真ではボードに隠れているが中央のスクリーンの左側には、電子黒板が設置されており、いつでも電子黒板に切り替えることができる。左右のボードは教員が授業中に板書する際に用いるスペースである。この教室では、右側のスペースはその時間の学習目標などが書かれている。教師卓は教室左前方に置かれ、教員用のパソコンが設置されている。このパソコンはインターネットに接続されており、授業に必要な教材のダウンロードにも使用される。この教室に限らず韓国の学校では、教室の提示装置には大型のディスプレイが使用されていたり、この教室のようにプロジェクターが設置されており、教師用のパソコンに接続されている。



写真 2 : 英語教室の前面

英語特別教室では、これらの装置に加えて、世界のいろいろな国の都市のパネル写真を飾ったり、英語学習に関わる資料を掲示したりして、英語を学習する雰囲気を作り出すようにしている。

2.2 co-teaching

韓国では、English Program in Korea (EPIK)という制度によって、様々な学校で韓国人教員と一緒に英語指導にあたる教員を募集している。日本のALT制度に相当するものであるが、募集に当たっては学歴、職歴などによって給与にも差がつけられており、最低限の資格として大学の学部卒（学士）であることが求められる。その際例えば、英語関係の学士を持っていると、給与の段階が1つ上がる。また、都市部に対して地方で勤務すると給与は高くなるように設定してある（註1）。

また2008年から Teach and Learn in Korea (TaLK) と言われるプロジェクトが始まり、韓国の地方の学校で放課後の英語学習の指導を担当する英語母語話者の学部生を募集している。これは都市部に対して、英語学習が不利になると考えられる地方の児童生徒のために英語学習を手助けする母語話者を募集するものである（註2）。

韓国ではこれらの英語母語話者の教員のために、韓国の教育制度、英語の教育の考え方、授業の方法などを説明したガイドブック（写真3）を作成し、配布している。

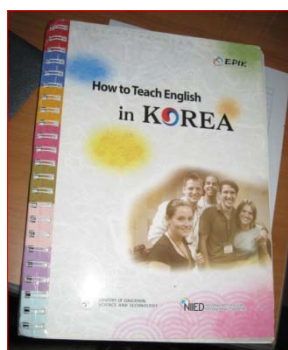


写真3：英語母語話者教師のためのガイドブック

また、これらの英語母語話者の教師は韓国人教師の指示の元に授業などの仕事に当たることとされている。地域毎に日程を組んで授業を公開し、その地域の英語母語話者の教師や韓国人教師と一緒に参観し、コメントを出し合うといった研修も随時行われている。



写真 4 : 英語母語話者の教師と韓国人教師との co-teaching

2.3.英語村

韓国の英語教育の一部として英語村があげられる。これは英語のイマージョンプログラムの1つで、英語圏（主に米国）の文化を再現した施設の中で、一定期間英語での生活を体験するものである。

韓国では英語学習のために、両親が子どもを英語圏の国に留学させることがしばしば行われている。しかし、経済的に恵まれない子ども達も英語のイマージョンプログラムに参加させて、英語習得を促そうというのが英語村のねらいの1つである。

英語村は、英語圏の国の生活を疑似体験できるだけの規模で作られているのが普通で、様々なプログラムを提供しながら利用者を募っている。また、参加者に対して自治体等が補助金を出しているところもあり、そのような社会的な支援があつて経営を成り立たせている。プログラムによって

参加形態は異なるが、例えば1つの学校で1つの学年全体が1週間英語村に滞在するなどの使い方であるとか、長期休暇中に個人で英語村のプログラムに参加するといった使い方などがある。英語村は小学生や中学生だけでなく、成人向けのプログラムを週末に設定して、施設が効率よく運用できるように努めている。写真4は、大邱（テグ）市郊外にある英語村の様子で、小学生が10人から15人のグループに分かれて、米国の町に模した施設（銀行、病院、食料品店等）で、いろいろな場面を経験している。ここでは英語で指導を受けながら料理を作っているところである。



写真5：英語村で英語母語話者の教師と料理を作る子ども達

3. 現在の国定教科書の特徴

3.1. 教科書の特徴

韓国では、2011年度は5・6年生において、1種類の国定教科書が使用されていた。国定教科書の著作権者は教育人的資源部であり、編纂者には教育人的資源部、教育課程評価院、地方教育庁職員、大学教員、初等・中等・高等学校の教員等からなる研究チーム、執筆チーム、審議チームが

協力して作成にあたっていた。また、教材としては教科書準拠の CD-ROM が、無償で児童に配布されている。その他、教師用の指導書と指導用の CD-ROM も準備されている。その他、教師や学校が自分の児童のレベルに合わせた教材として、独自に開発した補助教材を使用している場合もある。韓国では1997年度の実施当初は検定教科書が使用されていたが、2001年度から各学年国定教科書1種類のみを使用することとされた。しかしながら、2011年度からは再度3・4年生が国定教科書から検定教科書に代わり、2012年度からは全学年（3・4・5・6年生）が検定教科書となる。

2011年度の国定教科書 *ELEMENTARY SCHOOL ENGLISH*（5年生用と6年生用）は、教科書の部分としては200ページ（2003年度の教科書は136ページ）であるが、巻末の絵カード、ワークシート、シール等が101ページ（2003年度の教科書は57ページ）であり、全体で計301ページにも及んでいる。なお、巻末の絵カード等は、厚紙であるため一層厚くなっている（全体で2センチの厚さで、2003年度の教科書の約1.6倍である）。

教科書のレッスンは16課で構成されて、各課の単元目標が示されている。また語彙や表現の定着のために各課に英語の歌やチャンツがあり、歌には歌詞と楽譜が掲載されている。また、各々の課には、「聴く活動」「話す活動」「読む活動」「書く活動」として各2ページ、さらに、4技能を総合的・統括的に行う活動として4ページ、計12ページで構成されている。

「聴く活動」には、“Look and Listen” “Listen and Repeat” “Let’s Practice 1”、「話す活動」には、“Listen and Speak” “Look and Speak” “Let’s Sing/ Chants” “Let’s Practice 2”、「読む活動」には、“Listen and Read” “Let’s Read” “Let’s Practice 3”、「書く活動」には、“Let’s write” “Read and Write” “Listen and Write” “Let’s Practice 4”、「総合的・統括的に行う活動」には、“Story Time” “Activity1” “Activity2” “Let’s Review” がある。

この内、「リスニング活動での状況」や「会話のスキット場面」、「ゲームの方法」「読み物」等には、視覚教材が豊富に使用されており、児童が、容易に活動が理解できる様に、絵や写真で活動内容が示されている場面が多い。

教科書での韓国語使用は、単元目標や、活動の設問等に使用されているのみで、圧倒的に英語の文字の方が多い。

表1は、5年生、6年生の各レッスンのタイトルと Let's read の内容を示したものである。児童の興味・関心のあるテーマ、彼らの日常生活の場面で使用できるコミュニケーションを取りあげている。

表1： *ELEMENTARY SCHOOL ENGLISH* の
5・6年生の各課のタイトルと「読むこと」の活動内容

【5年生】

課	タイトル	「読むこと」 Let's read (A) の活動内容
1	How Are You?	What's your name? My name is Ann. I'm from New York. How are you? Very well. How about you? I'm fine, thank you.
2	Do you Have English Class Today?	Do you have English class today? Yes, we have English class today. Nami, do you like math class? Yes, I like it very much. I like music class, too.
3	It's Under the Table.	Where's my watch? It's under the table. Is this your ball? Yes, it's mine.

4	What a Nice Day!	What a nice day? Yes, it is. Look at the tree. It's very tall.
5	Where Is Gyeongbokgung?	Where's ABC Bank? Go straight and turn right at the school. It's next to the supermarket. Where's the hospital? It's over there.
6	I Get Up at Seven Every Day.	What time do you do your homework? I do my homework at 4:20 every day. Oh, I see. Are you hungry? Yes, I am. I have dinner at five o'clock every day. Oh! It's 5:30 now.
7	How's Your Sister?	How's your sister? She's fine. She has long hair. She has big eyes, too.
8	How About Playing Baseball?	How about riding a bike? Why not? How about going to the library? Sorry, I can't. I have piano lesson.
9	Whose Boat Is This?	Whose cap is this? This is yours. Happy birthday, Jinho! Thanks, Mom! Whose umbrella is this? That's Joon's. Yes, that's mine. Mine is yellow.
10	Do You Want Some More?	Mmm. It's really good. I like <i>tteokbokki</i> . Do you want some more?

		<p>No, thanks. I'm full.</p> <p>This is my birthday cake. Try some.</p> <p>Thanks. Oh, it's yummy.</p> <p>May I have some more, please?</p> <p>Sure. Here you are.</p>
11	<p>What Are You Doing?</p>	<p>Where are you? I'm here.</p> <p>What are you doing?</p> <p>I'm cleaning your shoes.</p> <p>What's he doing?</p> <p>He is making hamburgers.</p> <p>Really? Let's go and help him.</p> <p>Mmm...delicious.</p>
12	<p>This Is a Bedroom.</p>	<p>This is the futures house. Wonderful!</p> <p>This is a living room. What a nice house!</p> <p>Where's the bathroom? This way, please.</p> <p>Thanks. You're welcome.</p>
13	<p>Can You Tell Me About Your Family?</p>	<p>Can you tell me about your family?</p> <p>Sure. My mom likes to make sandwiches.</p> <p>My dad likes to play badminton.</p> <p>I love my family.</p> <p>Can you tell me about your family?</p> <p>Yes. This is my brother.</p> <p>He likes to study English.</p> <p>Good for him!</p>
14	<p>Is Peter There?</p>	<p>Hello. Hello.</p>

		<p>This is Joo. Is Jinho there? Speaking.</p> <p>Let's play badminton. Sounds good!</p> <p>Can we meet at the park at five? OK.</p>
15	Can You Join Us?	<p>Let's make a snowman together.</p> <p>Sounds great.</p> <p>Can you join us?</p> <p>Sorry, I can't. I must go home.</p>
16	What Did You Do Yesterday?	<p>What did you do yesterday?</p> <p>It was my dad's birthday.</p> <p>We had a surprise party.</p> <p>Sounds great. Did he like it?</p> <p>Yes, he did. We had a good time.</p> <p>Did you have a nice weekend?</p> <p>Yes, I had a lot of fun.</p> <p>What did you do?</p> <p>I went skating with my cousin.</p>

【6年生】

課	タイトル	「読むこと」 Let's read (A) の活動内容
1	Where Are You From?	<p>Today, we have a special class.</p> <p>Many parents come and visit us.</p> <p>My classroom is on the first floor.</p> <p>My sister's classroom is on the fourth floor.</p>
2	Is This York Street?	<p>Do you know this Korean restaurant?</p> <p>Yes, I do. It's over there. Over there?</p>

		<p>Yes, Turn left at this corner and go straight. It's behind the post office. Thank you for your help. No problem.</p>
3	Do You Like Spring?	<p>How's it going? Not bad. Summer is coming. Do you like summer? Yes. I go swimming in summer. What season do you like? Spring! I like spring. Flowers are everywhere.</p>
4	When Is Your Birthday?	<p>June July August September October In five more months I will be thirteen. The first week The second week The third week Twenty-third, twenty-fourth October twenty-fifth is my birthday.</p>
5	May I Help You?	<p>May I help you? Yes, please. I want to buy a doll for my sister. How about this one? Oh, I like it. How much is it? It's thirty dollars. Oh, no! That's too expensive.</p>
6	Can I Have Some Water?	<p>It's very hot. Yes, it is. I'm thirsty. Can I have some water, please?</p>

		<p>Sure. Here you are.</p> <p>Thank you. You're welcome.</p>
7	My Father Is a Pilot.	<p>Who is that? That's my father.</p> <p>He is very tall.</p> <p>What does he do? He is a scientist.</p> <p>Wow! I want to be a scientist, too.</p>
8	What Will You Do This Summer?	<p>What will you do this Saturday?</p> <p>I will read books.</p> <p>What will you do? I will visit my uncle.</p> <p>Where does he live? In Jeju.</p> <p>I will go swimming there. Sounds great!</p>
9	How Was Your Vacation?	<p>How was your holiday?</p> <p>It was great. I went to a museum. It was fun.</p> <p>I played baseball with my friends.</p>
10	I'm Stronger than You.	<p>I am very big. I am bigger than the tiger.</p> <p>I am stronger than the monkey.</p> <p>My nose is longer than the rabbits. Who am I?</p>
11	What Do You Want to Do?	<p>Tomorrow is my mother's birthday.</p> <p>I want to cook for her.</p> <p>I want to sing for her, too.</p> <p>My brother will make a card.</p> <p>We will have a good time.</p>
12	Will You Help Me, Please?	<p>I want to clean the house.</p> <p>Will you help me clean the living room?</p> <p>Sorry, I can't. I'm busy now.</p>

		<p>I am doing my homework. Will you help me?</p> <p>No problem.</p>
13	That's Too Bad.	<p>Wednesday, December 7th, Cold.</p> <p>I was at home all day. I was sick.</p> <p>I had a headache and a fever.</p> <p>My friends visited me with beautiful flowers.</p> <p>That made me happy. Now, I'm okay.</p>
14	Would You Like to Come to My House?	<p>Don't take off your shoes.</p> <p>We wear our shoes in the house. Oh, I see.</p> <p>Would you like to take off your coat? Sure.</p> <p>Thanks.</p>
15	It's Time to Go Home.	<p>左右の文を繋いで完成させる活動</p> <p>I take-, • my breakfast at 7:30</p> <p>I eat-, • a shower at seven every day.</p> <p>I arrive-, • finish at 2:30</p> <p>My lessons-, • at school at 8:20</p> <p>I play-, • my journal before I go to bed.</p> <p>I write-, • with my friends in the park at four</p>
16	So Long, Everyone!	<p>Today, we had a graduation ceremony.</p> <p>Many parents came and visited us.</p> <p>My teacher said to me, "Congratulations!"</p> <p>I said to him, "Thank you, Mr. Park.</p> <p>I'll miss you."</p>



写真 6 : *ELEMENTARY SCHOOL ENGLISH 6* (pp.78-79)

3.2. 韓国大邱 (テグ) 市立 Cheongrim 小学校の 6 年生の授業

この小学校では、英語は専科の教師が指導している。指導者の Kim Hyoung Jun 先生は現在、教育部の研修を受けて英語専科教員をしている。しかし、彼女の専門は初等教育課程で韓国語 (国語) である。英語については、彼女は教育部が実施している教員研修の他、テレビ等を活用し独学で学習している。

ここでは、彼女が指導していた 2011 年 11 月に参観した、第 14 課「Would you like to come to my house?」の中の「書く活動」を中心にした授業を紹介する。なお、授業の殆どは英語で進められ、レッスンの内容は日本の中学校 2 年生程度であった。

- ①英語のアニメーションを使用して、復習とウォーミングアップを行った。児童は熱心にアニメを見ていた。

- ②教師は、本時の授業の内容について「Let's write (words). Let's write (sentences).」について、児童に確認しながら、()の中に (words) と (sentences) を入れて板書した。
- ③ 教師は、ホワイトボードに、次のセンテンス、“Would you like to come to my house?” “This Thursday is Thanks giving Day.” “I have a party.” “Would you like to come to my Thanks giving Day party?” “I'd love to.” “Would you like to play soccer?” “Sure.” “This Wednesday is a holiday.” “Sorry, I can't.” “I have a piano lesson.” “Would you like to try this pie?” “Oh, thank you.” を、次々に一文づつ映し出した。児童はこれらのセンテンスを見ながら空中で、指で書き確認した。
- ④教師が、ホワイトボードに、「Would , party, ?, to, birthday, my, to, like, you, come」の語彙を映し出した。児童は3人から4人で一グループとなり、これらの語彙を並び替えて正しい文にし、小さいホワイトボードに書き、提示した（写真7）。最後に、教師がホワイトボードに正しい文を示し、児童はそれを確認していた。



写真7：語彙を並び替えて正しい英文にしている。

⑤教師がホワイトボードに映す語彙、「would」「join」等の語彙を全て逆さまに映したのから正しい文章にする活動、語彙を一瞬だけ見せて正しい語彙や文にする活動等、ゲーム性の高い活動も取り入れられていた。これらの活動は、児童の語彙に対する認識の速さと正確さが競われるので、児童の集中した取り組みが見られた。

⑥BINGO ゲームを行った。はじめに、教師がホワイトボードに、『Word Bank』として次の語彙を書いた。

“Would you like to come to my house?” “Would you like to come to my party?” “Would you like to play soccer?” “Would you like to try this pie?” “Would you like to try some turkey?” “Would you like to join us?” “Would you like to play computer games?” “Would you like to go to (韓国語)?” “Would you like to watch TV?” “I’d love to.” “Sure.” “Sorry, I can’t.” “Thank you.”

次に、児童は、これらの語彙の内、9の語彙を選んで、各自のBINGOのワークシートのマス目に書き写した。そして、BINGOゲーム(教師が発話した語彙が、自分の選んだ語彙にあればマークし、縦・横・斜めで3マス揃ったら勝ち「BINGO!」というゲーム)を行った。

⑦ジグゾーゲームを行った。教師は、あらかじめ教室の様々な所に、“Dear Ann” “I have a party.” “Would you like to” “my birthday” “come to house” “Jinho” 等、語彙を書いた紙を貼っておいた。

児童は、グループで順番を決め、一番から順に、紙の貼ってあるところに行き、そこに書いてある語彙を読み覚えた。そして、グループの席に戻って、小さいホワイトボードに、自分が読み覚えた語彙を書いた。覚えられない児童は何度も「紙の貼ってある場所」と「自分の席」とを往復し、覚えている語彙を書いた。順にグループ全員が繰り返して行き、「招待状の文章」として完成できたグループから教師に見

せ、これが正しいかどうかを確認した（写真 8）。

⑧自分の友だちを招待するために「招待状」を書く。

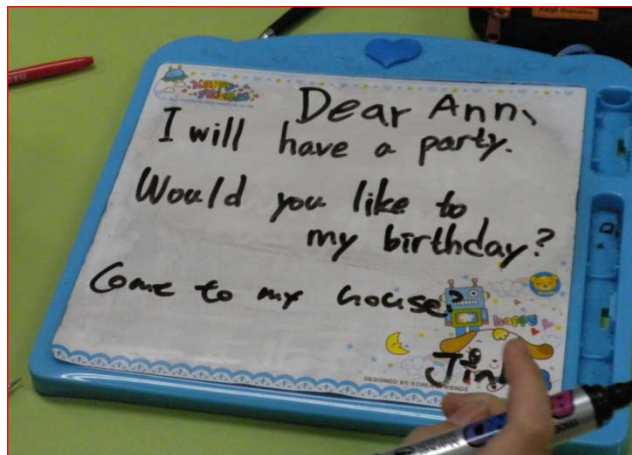


写真 8：グループでホワイトボードに書かれた文章。

教科書のこの課の「書く活動」の内容は、「語彙や文を書き写す活動(Let's Write)」、さらに、それらを応用して「語彙を選択して空所を補充する活動(Read and Write)」「ディクテーション(Listen and Write)」であった。

Kim 先生が、パソコンを駆使し、児童の学習意欲を高めるための教材を手作りして指導を行っていたのが印象的であった。また、教科書の「書く活動」は単純なドリルになりがちであるが、「自分の招待状を作成する活動」へと発展させていくことで、自己表現活動に繋げて行くことができ、児童の学習意欲を高める効果的な授業であった。

4. おわりに

1997 年度に始まった韓国の小学校英語教育は既に 15 年の歴史がある。国家の言語教育政策の下、英語を「教科」として位置づけ、導入時から指導者研修については十分な研修を国が保障することや、教員養成についても国立教育大学での教育が整えられていた。また、小学校英語に効果的な

指導法、教材・教具についても研究されてきた。最近では、韓国内の各地に設置された「英語村」で、児童の英語力向上のための様々なプログラムが用意されている。更に、小学校での課外授業や私塾では、「英語」が必ず組み込まれている。

今回の事例研究を実施した小学校は研究開発校ではなく、一般的な学校であった。しかしながら、英語特別教室に設置されている充実した教育機器や、僅か一年しか使用しない移行措置の国定教科書の内容、英語の授業にかける教師の指導や取り組みの熱心さをみて、日本の小学校外国語活動に与える示唆は大きいと思われる。

註

(1) <http://www.epik.go.kr/>

(2) <http://www.talk.go.kr/>

参考文献

河原俊昭（編）（2008）『小学生に英語を教えるとは？』東京：めこん。

河合忠仁（2004）『韓国の英語教育政策』大阪：関西大学出版部。

McKay, S. L.（2002） *Teaching English as an International Language.*

Oxford: Oxford University Press.

文部科学省（2008）『学習指導要領解説 外国語活動編』東京：東洋館出版社。

大谷泰照・相川真佐夫・東 真須美・沖原勝昭・林 桂子（2004）『世界の外国語教育政策』東京：東信堂。

高橋美由紀（1998）「小学校英語教育－韓国の事例研究から」『日本児童英語教育学会研究紀要』18, pp.55-70.

高橋美由紀・柳 善和（2011）「韓国の小学校英語教育の現状」第20回小学校英語教育学会愛知支部研究発表資料。